

基議厚産第362号
令和2年2月26日

基山町議会
議長 品川 義則 様

厚生産業常任委員会
委員長 末次 明

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項及び調査期日

- (1) 基山っ子みらい館について（令和2年1月31日）
（概要説明及び現地視察）

2 調査結果

本年4月開館予定の基山っ子みらい館の現地視察を行った。1月末現在、3分の2程度まで建設が進んでおり、3月中の落成式を目指している。

この施設は、基山保育園と子育て交流広場が共存する複合施設である。

基山保育園は定員230名として、子育て交流広場のスペースを保育室に切り替えることで人数増にも備えている。配置職員については、27名（正規14名、臨時13名）を予定しているとの説明を受けた。

監視カメラは目立つところに9台設置され、モニターは事務所で一括管理される。保育園側の窓は建物の南側に面しており、採光の面で問題はない。職員の控室兼作業場が洗濯ルーム側に整備され、館内のトイレは全て洋式である。また、3歳から5歳までの園児が利用するランチルームも設置されることから、従来型の各々の保育室で昼食を取らせ、各々片付けるという職員の手間暇は緩和されるとのことであった。

施設は全てフェンスで囲まれ、北東部に位置する駐車場は36台分が確保されているが、交通安全対策とスムーズな送迎者の流れを確保する必要がある。また、フェンス外側であるが園児が遊ぶ庭に隣接する一部は竹林も多くてヤブ蚊の問題が心配であり、対策は早急に取り組むべきである。

屋内遊戯室と活動室スペースについては、保育園と子育て交流広場で共有される。空き状況に応じて有料での貸し出しが可能であり、子育て交流広場と子育てカフェは町内外を問わず無料にて提供される。開館日は月曜日から土曜日までで日曜日と祝日は休みとなるが、開館日については今後、更に検討するよう提案した。

当委員会としては、子どもの避難経路等の動線を今一度確認し、災害時等のスムーズな避難体制を構築すること、交流広場を今後どのように活用して行くのか、その具体的な内容の提示、職員の昼休み休憩の確保などの待遇改善を図るよう提案した。